

山形城下絵図を辿る

山形城下絵図は、様々な人々に写され、大切に保管されてきました。各写本を見てみるとそれぞれに個性があり、写本者が必要としていたものが見えてきます。

彼らが何を思い、絵図を遺したのか。彼らは絵図に何を求めたのか。彼らの見た景色はどんなものだったのか…

城下を廻りながら、
過去の人々の想いを辿りましょう。



講師

東北芸術工科大学

最上期山形城絵図再考プロジェクト



2023年5月に、「最上期 山形城下絵図の世界」を発行。山形城下絵図の研究は長い蓄積があるが、各絵図を一覧できる資料や難解なくずし字を翻刻したものなかった。多くの方が絵図に触れられるよう、冊子の編集や研究成果の講演を行っている。

「最上期 山形城下絵図の世界」→ <http://archives.tuad.ac.jp>



日時

2025年5月日曜に実施（計4回講座）

第1回…5月 4日（日） 10:00～ 山形城下絵図を読む（守春本・伊藤本系統）

第2回…5月11日（日） 10:00～ 山形城下絵図を読む（涌谷亘理家本・正保絵図）

第3回…5月18日（日） 10:00～ 山形城下を廻る（山形城下散策）

第4回…5月25日（日） 10:00～ 山形城下絵図を辿る（過去3回のまとめ）

場所

山形県生涯学習センター「遊学館」3階第1研修室